

バリアフリー教室に参加して

和歌山県田辺第一小学校 四年

Aくん

ぼくは、十一月二十九日に田辺駅でのバリアフリー教室に参加しました。全員で二十四人が参加しました。Aは人とBは人とCはんに分かれましました。ぼくはCはんでした。高校生の人とペアでした。

始めに高れい者の感がくを体験しました。一キロのおもりと見えにくいメガネと歩みにくくするため足とうでにバンドを付けてつえを持ちました。その感がくは、重くて歩みにくかったです。この体で、駅の階段を歩く体験をしました。高校生の人が、右とか左とか声をかけてくれました。その階段を上ったり下ったりしました。次は高校生の人がする番です。ということは、ぼくが右とか左とか声をかけなくてはなりません。その時にはすでに、っ大じょうぶかな。とか不安を持っていました。けれど、声をかけている

うちになれてきました。みんなかほめてくれました。

次に、車いすの体験をしました。ぼくは車いすに乗ってバスに乗りこむ体験をしました。バスにスロープの板をのせて車いすの入もバスに乗れるようにしました。そして、ぼくの乗っている車いすもそのスロープで乗りこみました。バスの中で車いすがどこかに行かないように車いすに固定バンドを付けました。車いすでもバスに乗れるなんてすごいなあと思いました。

その次に、目の不自由な人の体験をしました。そのため、ぼくはアイマスクを付けました。それでは、こはんのおはあさんの手もつないでつりていきました。

「前に階段があります。」  
と言ってくれたので、階段の手すりを持たせてくれました。それで、タイミングに合わせて階段を歩いていきました。次は、おはあさんがアイマスクを付けます。それで、ぼくが

また声をかけてあげます。ちゃんと声をかけることが出来ました。

これで、もう全部の体験が終わりました。

ぼくは、体の不自由な人は、とても大変だなあ』と思いました。これからは、体の不自由な人を見かけたら、声をかけて助けあげたいです。

バリアフリー教室を開いてくれた運々局、田辺市のみなさんありがとうございました。